

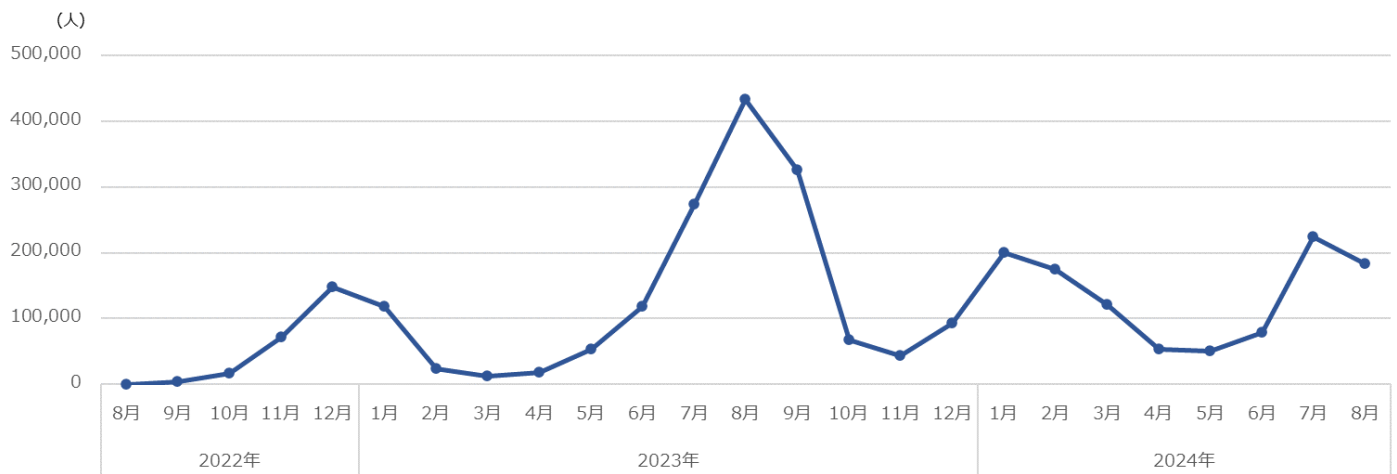
8月の新型コロナウイルス治療薬処方患者は約18万人 お盆明けの感染拡大は見られず

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の2024年8月データを基に、医療用医薬品の処方動向を調査・分析しました。

定期的に流行を繰り返している新型コロナウイルスですが2024年7月に患者数が急増し第11波入りいたしました。夏と冬に患者数のピークが来ることを繰り返していますが、第11波はどのような動きをしたのでしょうか。日本で処方されている主な新型コロナウイルス治療薬であるラゲブリオ、ゾコーバ、パキロビッドの3剤の処方状況から新型コロナウイルスの流行を確認します。

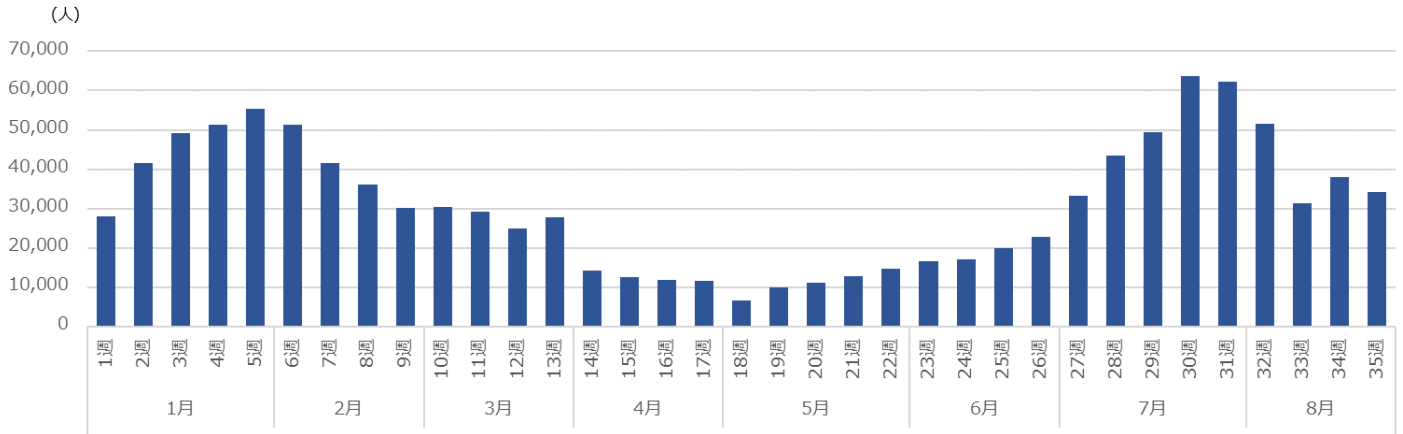
2024年8月の院外調剤市場における新型コロナウイルス治療薬の推計処方患者数は約18万人と前の月を約4万人下回りました。昨年は6月から8月にかけて患者数が大きく増加し8月がピークとなりましたが、第11波は7月がピークになったようです。2024年の処方患者数を週別にみると7月の後半に患者数が最も多くなり、その後減少、8月のお盆時期には前週比約60%まで患者数が減少しています。お盆期間は医療機関がお休みであったり人流が増えることもあり、お盆明けの34週には患者数が少し増えていますが、翌35週には前週比約90%に減少しています。7月後半のピークから減少傾向が続いており、第11波は収束に向かっているようです。

■新型コロナウイルス治療薬 推計処方患者数推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

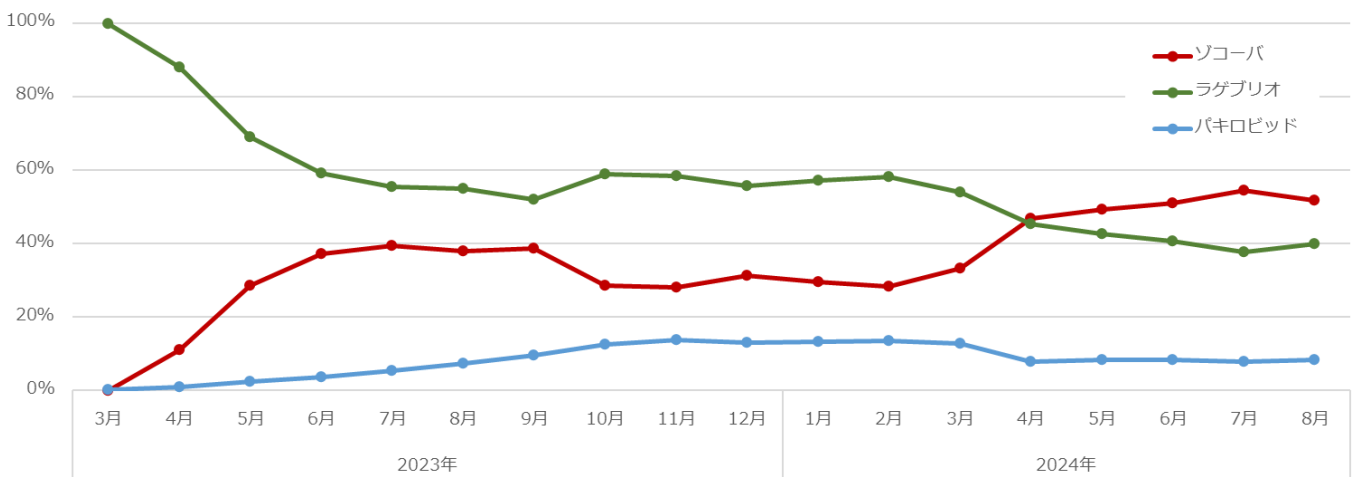
■新型コロナウイルス治療薬 推計処方患者数推移（2024年週次）



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

次に新型コロナウイルス治療薬のブランドシェアをみていきます。公費負担が終了した2024年4月にゾコーバが大きくシェアを伸ばしラゲブリオを逆転、シェアが約50%となりました。その後もゾコーバはシェアを伸ばし7月に54%までシェアを伸ばしました。8月も傾向は大きく変わらずゾコーバは微減の52%、ラゲブリオは40%、パキロピッド8%となっています。7月は若年層の患者が多かったため、重症化リスクがない患者への投与が可能なゾコーバのシェアが上がり、8月は若年層の患者が減少しそれに伴いゾコーバのシェアが下がるという動きをしたと想定されます。

■新型コロナウイルス治療薬 ブランドシェア推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

8月は過去の傾向からお盆明けに患者が増えることが想定されましたが、増加は見られず第11波は収束に向かっていくように見受けられます。9月は新しいインフルエンザシーズンの始まる月となり、今後も感染症の動きに注視する必要があります。インテージリアルワールドでは今後も医療用医薬品の動向を「処方」で捉え、発信して参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>